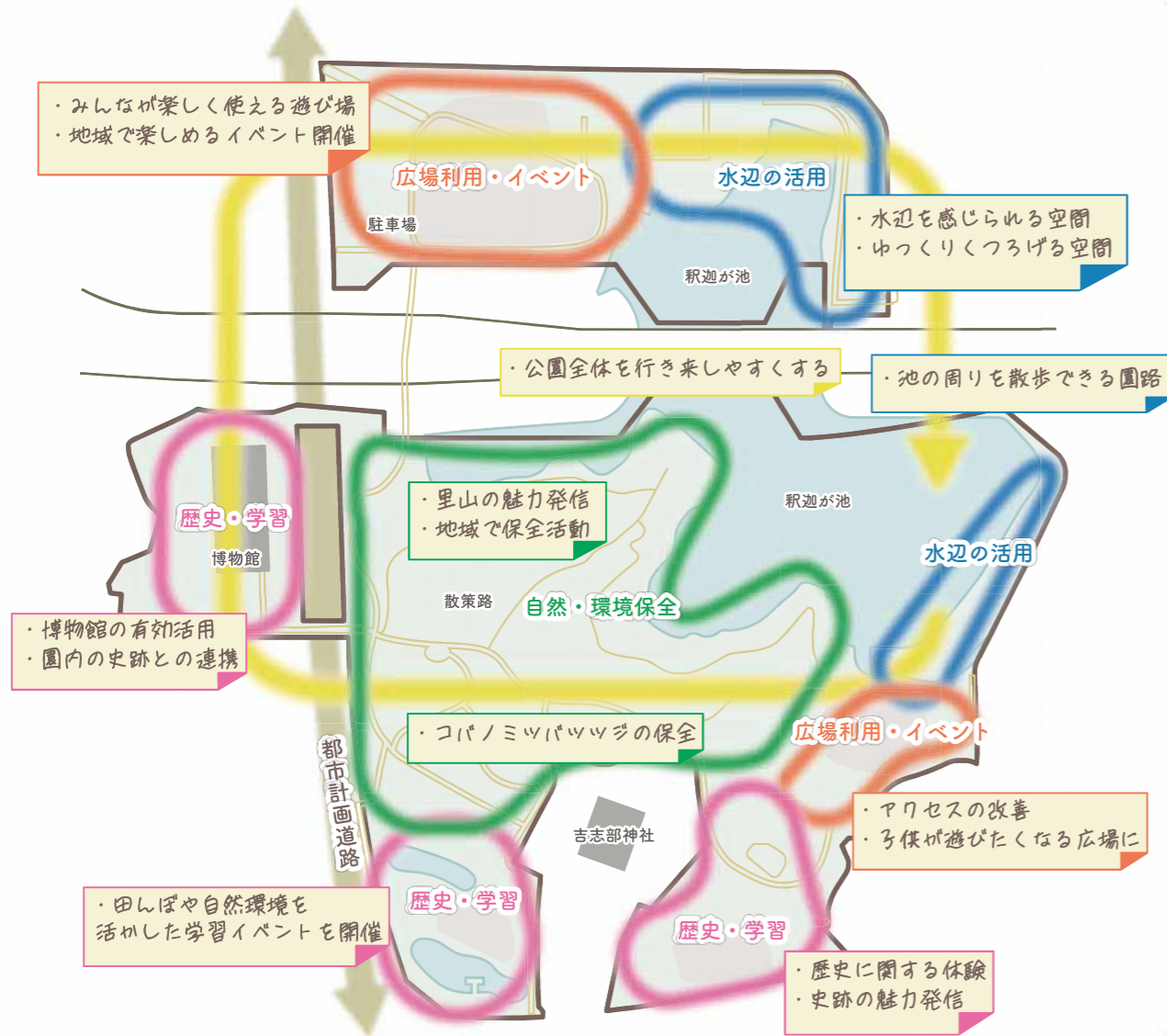


いただいた意見から、公園の使い方のイメージと公園整備に必要なポイントを整理してみました！

## 公園の使い方のイメージ



## 公園整備に必要なポイント

### 1. 自然・歴史の保全

⇒公園の特徴をふまえたゾーン分けて、自然と歴史を守りながら公園を使っていくことが必要

### 2. 誰もが安心して使える環境

⇒危ない場所や通りにくい場所を改善し、誰もが気軽に楽しめる公園にすることが必要

### 3. 市民も一緒に作っていく公園

⇒現在行われている活動を次世代へと引き継ぎ、市民みんなで公園を利用・管理する仕組みが必要

## 今後の予定

- 第1回：令和5年12月16日（土）10：00～  
場所：吹田市立博物館
- 次回  
第2回：令和6年2月18日（日）10：00～  
場所：吹田市立博物館  
『どんな公園になってほしい？  
～公園でしてみたいことを考えよう～』
- 第3回：令和6年6月23日（日）14：00～  
場所：吹田市立博物館  
➡社会実験：令和6年9月頃
- 第4回：令和6年11月頃



Instagram やってます！

【公式】紫金山公園

「みんなで作る紫金山公園プロジェクト」

ご意見はこちらにお寄せください！

発行：吹田市土木部公園みどり室（担当：姫井・武川）

TEL：06-6834-5364 mail：dousei-kouen@city.suita.osaka.jp

# みんなで作る 紫金山公園プロジェクト

## 第1回

# ワークショップ News Letter

## 紫金山公園の魅力向上事業

紫金山公園は市民のみなさんに親しまれながら、今年で開園から50周年を迎えました。

吹田市では、今後の管理水準の向上や様々なニーズへの対応等の課題解決を図るため、紫金山公園の魅力向上策を検討しています。今後の公園整備や管理に市民の皆さんの意見を反映させるために、ワークショップを開催して「目指すべき姿（素案）」を作っていきたいと考えています。

## 第1回ワークショップについて

ワークショップには、子どもから大人までたくさんの方に参加いただきました。

兵庫県立大学の<sup>おおぶたかし</sup>大藪崇司 准教授よりワークショップの進め方についてアドバイスを頂いた後に、6班に分かれて紫金山公園の「魅力」「変えたいこと」「してみたいこと」「あればいいもの」について意見交換をしました。意見交換の際には、淡路景観園芸学校の学生の皆さんにもお手伝いいただきました。



- ・開催日時：令和5年12月16日（土）10：00～
- ・開催場所：吹田市立博物館
- ・参加人数：54名（うち、お子さん2名）



# ワークショップでいただいた主な意見



1班

・北側と南側で印象が違う。  
北側は遊具もある活動的なエリアで、イベントを行うならこちらが良い。  
南側は歴史や自然が豊かなエリアで、魅力を活かした道が作れたら良い。  
・多世代が公園に集まる仕組みが必要!



3班

・自然が公園の大きな特徴、残しつつ何が出来るかを考えるのが必要!  
・公園での活動に小学生・中学生を巻き込みながら、みんなで保全!



5班

・園路の状態が悪いが、整備するときには自然とバリアフリーのバランスが重要!  
・太陽光、バイオマス、小水力などの自然エネルギーを活用する場としてみたらどうだろうか?



・地域のイベントやお祭りができたら良い!  
・お店ができると人が集まってくる、地域の公園としてはどうなのか?



2班

・ゾーン分けが重要! いろんな人が過ごしやすい公園に!  
・博物館はうまく利用されていない、道路ができると賑わいができるきっかけになるかも?



4班

・釈迦ヶ池も周遊できるようにすれば、北側と南側が行き来しやすくなるかも?  
・防災面でも公園を活用できるように整備することが必要!



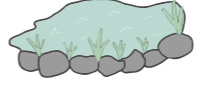
6班

・地域のイベントやお祭りができたら良い!  
・お店ができると人が集まってくる、地域の公園としてはどうなのか?

## 〈その他の意見〉

### 自然

- いろいろなどんぐりの木、コバノミツバツツジ、桜、たくさんの野鳥等、季節ごとの豊かな自然が魅力
- 自然の魅力を高めたり、自然の中で遊べるようにできたら良い  
→コナラやワタギ等の実のなる植物を植える  
→木の名前の札をつける  
→危険なところの解消  
→広場における外来種の対策
- 釈迦ヶ池の水辺が感じられると良い  
→釈迦ヶ池が見えるように整備する
- 貴重な里山中心の公園として保全していきたい  
→林・水辺・草原・田んぼがそろっている  
→子供と一緒に里山や水辺を体験できる場所
- 自然の魅力を伝えるものが必要
- 自然共生サイトへ登録
- 都市計画道路がどのように通るかで公園の姿が変わる  
→自然環境への影響が少ない方向へアピールが必要



### 公園施設

- 公園内のトイレが古くなっているため、改修してバリアフリーにしてほしい
- 遊び場がもっと良くなったら良い  
→うんてい、水遊び、滑り台、アスレチックエリア
- 休憩できる場所があったら良い  
→日かげ、あずまや、自動販売機
- オープンで多世代が集まって交流できる場所が必要  
→カフェ、集会室、地域の掲示板
- 駐車場が広くて無料なのが良い
- 駐車場が無料なのはもったいないのでコインパーキングにしたらどうか
- 老朽化した場所の修繕が必要  
→崩れた石垣など
- 博物館に展望台を設け、吹田市を一望できるようにしてみたらどうか?



### 歴史

- 吉志部神社が近くにあるのが魅力
- 歴史や民俗が伝承されてきた場所  
→歴史を体験できる取り組みがあると良い
- 史跡に関する案内が分かりにくい  
→史跡を説明する看板があったり、案内する人がいると良い
- 博物館があるが、あまり利用されていないので有効に利用できると良い  
→バックヤードツアー →公園内の史跡との連携  
→学校との連携
- ピンク火山灰層を保全してほしい



### 利用

- 世代間の交流ができるような、いろいろなイベントを行いたい
- ゆっくりできる場所があると良い
- スポーツやマリテビティを楽しめる場所があると良い
- 走り回ったり、ボールでも遊べる広い場所が魅力  
→「遊べる」と「憩える」と「球技をする」と「そうでないところ」を分けてほしい
- 池があるのに、水辺で遊べる場所がない。安全に遊べる場所が欲しい  
→釣り堀 →安全のためのフェンス
- 映えスポットがあると良い
- 誰もが移動しやすい環境や工夫が必要  
→電動カート →水辺の周遊路でのアクセス改善
- 夜に通ると暗い場所がある。照明を増やして明るくしてほしい。  
→夜も使えるようになるが、不審者が増えたり、たまり場になると困る  
→照明を増やすと植物への影響が心配。影響が少ないようにしてほしい。
- どっちに行けば何があるか分かるような案内サインが欲しい
- 吹田SAと行き来できると良い
- 市民による活動が活発。市民も一緒に作る必要がある。  
ボランティアが連携したり、次世代につなげられる場があれば・・・
- 公園のPRができていない。情報発信が必要



## 大藪先生からのコメント



今回のワークショップを通して、紫金山公園が地域の皆さんにとっても愛されている公園だと感じることができました。  
紫金山公園は北側・南側で異なった特徴があるため、それぞれの特色を活かして、多くの人が参加しやすい公園を作っていく必要があります。また、北側・南側のアクセス性を高めると公園全体を一体利用できるかもしれません。  
自然を保全・活用していく上では、資金や人材が不可欠です。公園の魅力をいかに若い世代に伝え、保全に興味を持ってもらえるようにするのが課題ですね。例えば、北側のイベントに来てもらうことで、南側の保全活動にも参加してもらえるような仕掛けづくりが大切だと思います。